

## 令和5年度中期目標・中期計画に対する自己点検・評価結果

### 1. 概要

本学では、第4期中期目標・中期計画の達成及び教育研究水準の向上を図ることを目的とし、適切に進捗管理を行うため、毎年度自己点検・評価を実施し、評価結果の公表を行っている。

令和5年度においても昨年度同様、各部局から報告されたロードマップ(=年度計画)に対する自己点検・評価に基づき、大学評価本部において最終的に検証の上、学内主要会議(教育研究評議会、経営協議会)を経て自己点検・評価結果を確定した。

### 2. 評価方法及びプロセス

本学では、中期計画毎に立てた評価指標を学内において更に細分化(全138項目)し、細分化した評価指標項目毎に各部局が6年間のロードマップを立てて取組を進めている。

令和5年度自己点検・評価においてもロードマップに対する達成状況を4段階評価(◎：計画以上、○：計画通り、△：進捗遅れ、×：取組不足)により実施した。各部局において、自己点検・評価結果を踏まえ、次年度以降の計画を見直し、評価指標の達成に向けて取組を進めている。

〔評価プロセス〕



### 3. 評価結果 一総括一

評価の結果、一部項目に計画以上の取組がみられるほか、概ね計画通り取組が進められている一方、一部項目において進捗に遅れや不足が生じていることが認められた。計画に準じて取組を進めているものの一部計画に遅れ等が生じている項目については、次年度以降の計画を見直すとともに、評価指標達成に向けた取組を加速することとしている。

【令和5年度自己点検・評価結果】 ※評価指標を更に細分化し、全138項目で自己点検・評価を実施

	項目数	計画以上 (◎)	計画通り (○)	進捗遅れ (△)	取組不足 (×)
<b>I. 教育研究の質の向上</b>					
(1)社会との共創	5		5		
(2)教育	63		61	2	
(3)研究	27		24	2	1
(4)その他	17		15	2	
<b>II. 業務運営の改善及び効率化</b>	7		5	1	1
<b>III. 財務内容の改善</b>	5	2	3		
<b>IV. 自己点検・評価、情報提供等</b>	7		7		
<b>V. その他重要事項</b>	7		7		
	計138項目 (全体割合)	2 (1.5%)	127 (92%)	7 (5%)	2 (1.5%)

#### 4. 主な取組

##### 社会との共創

### Topic1：令和5年度地域活性化人材育成事業～SPARC～ 全国シンポジウムの実施

令和6年3月29日(金)・30日(土)の2日間にわたり、本学が幹事校となって全国シンポジウムをハイブリッド形式で開催し、当日は現地に約140名、オンラインでは約180名が参加した。

本シンポジウムは、SPARC事業の取組成果を共有するとともにさらなる議論や交流を行う機会として位置付けられている。

開催1日目は基調講演及び6大学による採択地域事業説明、2日目はテーマ別セッションが行われ、活発な情報交換や意見交換が行われた。



2日目  
テーマ別セッション



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/47722>

### Topic2：AI・データ利活用スペシャリスト養成業務講座を開講

山梨県の委託を受け、令和5年10月28日(土)～12月17日(日)の期間内に計5日間の研修日程を設け、「AI・データ利活用スペシャリスト養成講座」を本学甲府キャンパスにおいて開講した。

本講座は、企業におけるAI・データ活用等に関する技術育成を目的として実施しており、生成AIやプログラミングのほか、データサイエンスに関するセミナーが行われ、技術習得を希望する社会人計25名が受講した。



##### 教育・研究・その他

### Topic1：山梨県立大学との連携開設科目拡充に向け、学年暦を統一（令和6年度～）

本学では、(一社)アライアンスやまなしが令和3年3月に「大学等連携推進法人」の認定を受けたことを機に、令和3年度から山梨県立大学(=県立大)と連携開設科目を開講している。

県立大との連携開設科目拡充を進めていく中で、課題の一つとして、両大学の学年暦の違い(祝日月曜日の授業有無)が挙げたことから、これを解決するため、令和6年度から学年暦を統一することとした。

本学では従来、祝日月曜日の授業日を設けていなかったが、学年暦統一化により、令和6年度から一部の祝日月曜日を授業日としている。

令和6年度学年暦 休日授業日		
前期	4月	29日(祝月)
	7月	15日(祝月)
後期	10月	14日(祝月)
	11月	4日(祝月)

詳細はこちら👉

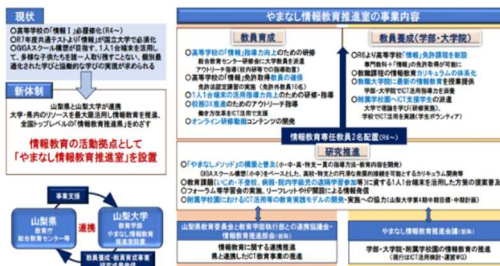
<https://www.yamanashi.ac.jp/campuslife/78>

## Topic2：附属教育実践総合センターに「やまなし情報教育推進室」を開室

令和4年度から高等学校で「情報I」が必修化したことや国立大学において令和7年度共通テストから「情報」科目が必須化していること等を踏まえ、山梨県と本学が連携し、情報教育の活動拠点となる「やまなし情報教育推進室」を令和5年10月1日に本学教育学部内に開室した。

また、開室初年度の取組として、本推進室においてオンライン動画研修コンテンツの政策やICT支援学生の養成・派遣などを実施した。

### 情報教育の推進拠点「やまなし情報教育推進室」の設置



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.info/>

## Topic3：「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」の採択決定

本学では、文部科学省が公募した「地域中核・特色ある研究大学の連携による産学官連携・共同研究の施設整備事業」に申請し、採択された。

本事業は、地域中核・特色ある研究大学として機能強化を図る大学に対し、共同研究拠点施設やオープンイノベーション創出等に必要な施設整備を支援するものであり、本学は提案大学として「クリーンエネルギー研究拠点施設整備」、連携大学として「先端脳科学研究拠点」を申請した結果、2件とも採択された。

今回の採択を受け、本学では甲府東キャンパスに「ゼロエミッションみらいラボ(クリーンエネルギー研究)」、医学部キャンパスに「ニューロン-グリアクロストークセンター山梨(先端脳科学研究)」の整備を進めている。



ゼロエミッション みらいラボ (甲府東キャンパス)



ニューロン-グリアクロストークセンター山梨 (医学部キャンパス)

詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/42541>

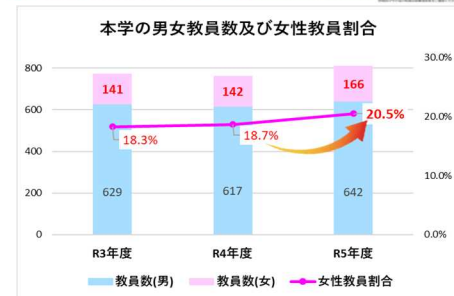
## Topic4：教職員向けのライフイベント別支援制度【図解版】の作成及び

### 育児短時間勤務制度を小学校3年生までの子を持つ職員へ適用拡大(令和6年度～)

本学では、教職員の仕事と育児・介護等の両立を促進していくため、各種支援制度の整備を進めており、令和4年度には「出生時育児休業(=産後パパ育休)」等の新制度を整備した。

整備された各種支援制度は、これまで主に文書による周知が行われてきたが、制度の浸透や教職員の理解を深めるため、令和5年度に図解版を作成し、教職員へ周知を行った。その結果、令和4年度導入の産後パパ育休は、令和5年度中に計12名の教職員が取得している。

また、これまで育児短時間勤務制度を「小学校就学前の子を持つ職員」としていたが、令和6年度から「小学校3年生までの子を持つ職員」へ適用を拡大する等、教職員のワークライフバランス確保に努めている。



## 業務運営、財務、情報提供等

### Topic1： 令和5年度山梨大学ステークホルダーミーティングを実施

令和6年3月15日(金)、大村智記念学術館において、ステークホルダーミーティングを開催した。

本ミーティングは、令和4年度まで教育関係を主テーマに取り扱ってきたが、ステークホルダーから出された意見を大学運営等に反映していくため、令和5年度からは内容を拡充(教育関係、運営・研究・社会貢献等)し、分科会形式により実施した。



分科会A  
教育関係



分科会B  
大学運営・研究・社会貢献等

詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/47222>

### Topic2： 若手職員による業務改善プロジェクトチームを発足

本学では、大学事務職員の役割・責任がこれまで以上に重要性を増し、業務量の増加や質の高度化・複雑化が進んでいることを受け、若手職員ならではの新たな考えや発想をもとに従来業務の抜本的見直し及び業務効率化を図っていくことを目的とする「若手職員による業務改善プロジェクトチーム」を令和5年12月5日(火)に発足した。

本チームは、各部署から選出された若手職員メンバー14名によって構成されており、業務効率化に向けた検討が進められている。



業務改善プロジェクトチーム ミーティング

詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/46146>

### Topic3： 学生広報スタッフサイトを新設

令和5年10月から発足した本学学生広報スタッフによる活動の一環として、本学の魅力を伝えることを目的とする「学生広報スタッフ特設サイト」を開設した。

本特設サイトでは学生ライフや学び、イベント、留学・国際交流、キャリアなどについて、学生目線で大学の魅力が発信されている。



詳細はこちら👉

<https://www.yamanashi.ac.jp/feature>